

令和元年度第2回県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループ結果概要

1 日時及び場所

- ・令和2年1月16日(木)18:00~19:35、厚木保健福祉事務所大和センター講堂

2 出席者

- ・県央地区保健医療福祉推進会議委員（12名）
県央地区の各医師会会長、各病院協会会長、三次救急医療機関病院長、各市町部長、県所長
- ・関係者（2名）
厚木市福祉部長、綾瀬市福祉部長兼福祉事務所長

3 概要

(1) 議題

県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等に関する調査について

(2) 目的

高齢化率が進む中で、救急医療を受診する高齢者は年々増加し、救急医療の対象とならない高齢者の受診も多くなり、救急医療は崩壊の危機にあり、県央地区保健医療福祉推進会議においては、高齢者救急を地域医療構想の推進の課題と考えている。

しかし、地域の医療提供状況は地域医療構想策定時等のNDBデータ、DPCデータ等で示され共通理解はできているが、高齢者施設の状況の把握は難しい現状がある。

地域医療構想実現、地域包括ケアシステム構築に向けて、高齢者救急について医療機関と高齢者施設との連携を深める必要があることから、県央地区の高齢者居住施設等（介護事業所、福祉施設）を対象として、基本事項（施設名、所在地等）、医療従事者等、看取り実績や救急搬送の状況等を把握するために、共通書式で「県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等に関する調査」を行う。

(3) 確認事項等

①調査対象

- ・県央地区の高齢者居住施設等（介護事業所、福祉施設）

②調査項目

- ・4月1日現在の事業所名、所在地、医療従事者等、協力医療機関所在地、並びに前年度の看取り実績及び救急搬送数等

（備考）平塚市調査の内容確認済、県央地区32病院に意見照会済

③調査結果の情報共有範囲等

- ・調査について、調査対象事業所等の理解及び協力を得ることが重要
- ・調査結果は、情報共有機関（県央地区保健医療福祉推進会議委員、調査対象事業所等、県央地区32病院等）に限定して公開
- ・調査結果は、県央地区保健医療福祉推進会議の傍聴者配布は行わず、厚木保健福祉事務所HP掲載はしない
- ・調査結果のパスワード付き電子ファイルを作成

(4) 今後の調整等

- ・調査の実施には、今後、県央7市町村、厚木保健福祉事務所及び大和センターにおける調整が必要